## アナフィラキシーの既往がある方は

様式4(裏)

## 過去にあった症状に ✓ チェックしてください。

刎症	状のチェックは緊急性の高い、左の	の欄から行う 参今後の対応内	7容を保護者と確認
全身	□ ぐったり □ 意識もうろう □ 尿や便を漏らす □ 脈が触れにくい/不規則 □ 唇や爪が青白い		
呼吸器	□ のどや胸が締め付けられる □ 声がかすれる □ 犬が吠えるような咳 □ 息がしにくい □ 持続する強い咳き込み □ ゼーゼーする呼吸	□ 数回の軽い咳	
消化器	□ 持続する強いお腹の痛み (がまんできない) □ 繰り返し吐き続ける	□ 中等度の お腹の痛み □ 1~2回の嘔吐 □ 1~2回の下痢	<ul><li>□ 軽いお腹の痛み (がまんできる)</li><li>□ 吐き気</li></ul>
■・舅・	上記の症状が 1つでも当てはまる場合	<ul><li>□ 顔全体の腫れ</li><li>□ まぶたの腫れ</li></ul>	<ul><li>□ 目のかゆみ、充血</li><li>□ □ □の中の違和感・唇の腫れ</li><li>□ くしゃみ、鼻水、鼻づまり</li></ul>
皮膚		□ 強いかゆみ □ 全身に広がるじんま疹 □ 全身が真っ赤 1つでも当てはまる場合	<ul><li>□ 軽度のかゆみ</li><li>□ 数個のじんま疹</li><li>□ 部分的な赤み</li><li>1つでも当てはまる場合</li></ul>
今後の対応内容	①ただちにエピペン <sup>®</sup> を使用	①内服薬を飲ませ、エピペン®を準備	①内服薬を飲ませる。
	エピペン <sup>®</sup> (有・無)	②速やかに医療機関を受診	(
	②救急車を要請(119番)	(救急車の要請も考慮)	②少なくとも1時間は5分ごとに症状
	③その場で安静を保つ	③医療機関に到着するまで少なくとも	の変化を観察し、症状の改善が見
	④その場で救急隊を待つ	5分ごとに症状の変化を観察	られない場合は医療機関を受診
	⑤可能なら内服薬を飲ませる	緊急性の高い症状が1つでも当ては	(
	l <b>\</b> (	まろ提会 エピペン <sup>®</sup> を体田	

厚生労働省「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン (2019年改定版)」P37「症状チェックシート」を参考に作成

## <参考> 表 アレルギー症状の重症度評価と対処法

ヘシウィ		277	11 IM C / 1 / C / M		※症状の重症度は一番
		<sub>グレード</sub> 1(軽度)	<sub>グレード</sub> 2(中等度)	<sub>グレード</sub> <b>3(重度)</b>	重い臓器の症状を用いる
皮膚·粘膜症状	紅斑·蕁麻疹·膨疹	部分的	全身性	←	本表の記載はあくまでも
	搔痒	軽い搔痒(自制内)	強い搔痒(自制外)	←	症度と治療の目安であり 治療は状況によって変り
	口唇、眼瞼腫脹	部分的	顔全体の腫れ	←	
	口腔内、咽頭違和感	口、のどのかゆみ、違和感	咽頭痛		る。
消化器症状	腹痛	弱い腹痛	強い腹痛(自制内)	持続する強い腹痛(自制外)	
	嘔吐·下痢	嘔気・単回の嘔吐・下痢	複数回の嘔吐・下痢	繰り返す嘔吐・便失禁	
	咳嗽、鼻汁、鼻閉、 くしゃみ	間欠的な咳嗽、 鼻汁、鼻閉、くしゃみ	継続的な咳嗽	持続する強い咳込み、 犬吠様咳嗽	* 1 血圧軽度低下: 1歳未満 < 80mmHg 1-10歳 < 〔80+(2×年 齢)〕mmHg 11歳-成人 < 100mmHg
呼吸器症状	喘鳴、呼吸困難	-	聴診上の喘鳴、 軽い息苦しさ	明らかな喘鳴、呼吸困難、 チアノーゼ、呼吸停止、 SpO2≦92%、締め付けられ る感覚、嗄声、嚥下困難	
循環器症状	脈拍、血圧	-	頻脈(+15回/分) 血圧軽度低下 <b>*</b> 1、蒼白	不整脈、血圧低下*2、 重度徐脈、心停止	11/1/30 /30/2/ \100mm 1g
神経症状	意識状態	元気がない	眠気、軽度頭痛、恐怖感	ぐったり、不穏 失禁、意識消失	* 2血圧低下:
	抗ヒスタミン薬	必要に応じて	0	0	1歳未満 < 70mmHg
治療	呼吸器症状に対する 気管支拡張剤吸入	-	0	0	1-10歳 <〔70+(2× 年齢)〕mmHg
	ステロイド	-	必要に応じて	0	11歳-成人<90mm
	アドレナリン	=	必要に応じて	0	